

テレビでよく見るタレントさん、かなり多くの方が創価学会員だって知ってますか？
創価学会のタレントさんはこういった理由でたくさんテレビに出ることが出来るのです。
さて、この電通会長の成田豊氏と創価学会のトップ池田大作氏は在日コリアン（日本在住の北朝鮮&韓国人）と深い関係にあると言われてます。そして大口広告主のパチンコは朝鮮企業です。

これで、全てつながりましたね。そう、テレビは現在、在日コリアンに掌握されているのです。
『えー、テレビ局が朝鮮の会社に乗っ取られているなんて、考えられないのですが。』

信じられませんか？じゃ、あなたは【韓流ブーム】をどう思いますか？

『ヨン様って素敵よね。えーと、あとは・・・??』

【韓流ブーム】は実際はヨン様止まりだったのです。テレビや雑誌に乗せられて未だに熱狂している人はごく少数です。あとは在日コリアンのおばさまたちが【韓流ブーム】の担い手なのです。

しかも、もともと【韓流ブーム】はNHKと電通が仕掛けた【作られたブーム】なのです。少しはブームとして路線に乗りましたが、もう既に終わったブームです。

あなたは気がついたでしょうか？

つい先日、フィギュア GP で浅田真央が逆転優勝した時、マスコミは浅田真央ちゃんの転倒をあげつらい、キムヨナの方が実力が上、と言わんばかりの報道をしていたのです。

何故日本人の優勝を喜ばず、負けた韓国の選手を持ち上げるのでしょうか？理由はもう、お分かりですね。

今日からはテレビを見る時は、以上のことを頭に入れながら見て下さい。いろいろ見えてくるはずですよ。

【テレビの闇2】日中記者交換協定

日本のテレビは中国にもコントロールされているって知ってました？

『えー、まさか。そんなの聞いたことないけど。』

実は、日中の政府レベルできっちりと決められている協定があるのです。

【日中記者交換協定】

- ・ 中国に不利な報道をしない
- ・ 台湾独立を肯定してはいけない
- ・ 中日関係を悪くする報道をしない

以上の約束を破ると、その報道機関は中国に支局を置けないことになっています。中国の取材をしたかったら、中国の都合のいい記事だけ書くように、と、日中の政府で取り決められてしまったのです。日本の報道機関はおしなべてみんなこの協定を守っています。特にこの協定を厳格に守っている局はテレビ朝日です。

『そんなこと言うけど、チベットの問題とか、毒ギョウザとか、中国の悪い問題もちゃんと報道されているじゃない？』

日本では言論の自由が保証され、情報もテレビだけから入ってくるわけではありません。ですから、あからさまな報道規制をすることはできないのです。そんなことをしたらすぐにバレて、みんなテレビに不信感を抱いてしまうでしょう？

さあ、思い出して下さい。《チベット問題》《毒ギョウザ事件》はどうなりましたか？

あなたは『最近テレビでも見ないし、何となく解決に向けて動き出してるんじゃないの？』と考えてはいませんか？

正解は、どちらの問題も、全く何の進展も見せていません。依然、問題のままなのです。ところがテレビはこれらの問題の報道を少なくすることで徐々に沈静化させていくのです。そして、小さくなった所でこっそり握りつぶす。こうすることで協定を守っているのです。